

## 北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

- 1 観光入込客数調査について  
本調査は、全国観光統計基準により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、道内 212 市町村が調査を行った結果を集計したものです。

- 2 調査内容

- (1) 観光入込客数

- ア 観光入込客数【実人数】

道内 212 市町村の観光入込客数や観光客動態調査などにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数とは : 1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数える。

- イ 観光入込客数【延べ人数】

道内 212 市町村の観光入込客数を集計した観光入込客の延べ人数

延べ人数とは : 市町村の実人数の単純合計

1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数える。

- (2) 来道観光客数

平成12年度の交通機関(航空機、フェリー、鉄道)の下り便の輸送実績を基に「来道観光客動態調査」などにより推計した来道観光客の実人数。

- (3) 訪日外国人来道者数

平成12年度に、北海道を訪れた外国人について、「宿泊施設調査」や「動態調査」などから推計した訪日外国人来道者数。

- 3 利用上の留意事項

- (1) 今回の調査は、平成12年度(H12.4~H13.3)を基に行っており、「春」は4・5月、「夏」は6月~9月、「秋」は10月~11月、「冬」は12月~3月として、取り扱っております。
- (2) 市町村ごとの観光入込客数調査は、実人数を推計していますが、「支庁の計」、「圏域の計」は延べ人数となっております。
- (3) 平成11年度より全道212市町村が調査を行っております。
- (4) 数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。
- (5) 構成比は人単位で計算しております。
- (6) 虻田町、壮瞥町の平成11年度下期の観光入込客数及び訪日外国人宿泊者数は、有珠山噴火の影響により報告が不可能だったため、10年度下期の実績を11年度の観光入込客数及び訪日外国人宿泊者数を訂正いたしましたので、これにより前年度対比数を算出しております。

## 観光入込客数調査の概要

### 1 観光入込客数（実人数）

道では、道内212市町村が実施している「観光入込客数調査」と道が実施している「観光客動態調査」を基に観光入込客数の実人数を推計しています。

平成12年度の観光入込客総数（実人数）を調査結果から推計すると4,862万人となり、前年度に比べ5.6%の減少となっております。

有珠山噴火の影響、航空運賃の改定の影響、個人消費の伸び悩みなどにより、5.6%の減少となっておりますが、下期をみると回復の兆しが伺えます。

これを道外・道内客別にみると、道外客は596万人（構成比12.2%）で前年度に比べ6.1%減少しており、道内客は4,266万人（構成比69.8%）で前年度に比べ5.5%減少となっております。

また、日帰り・宿泊別では、日帰り客は3,396万人（構成比69.8%）、宿泊客は1,466万人（構成比30.2%）となっております。

#### 平成12年度観光入込客（実人数）

区 分	観光入込客数	構 成 比	左 の 内 訳	
			日帰り客	宿泊客
道 外 客	596万人	12.2%	3万人	593万人
構 成 比	100.0%		0.5%	99.5%
前年度対比	93.9%		94.6%	93.8%
道 内 客	4,266万人	87.8%	3,393万人	873万人
構 成 比	100.0%		79.5%	20.5%
前年度対比	94.5%		94.7%	93.8%
合 計	4,862万人	100.0%	3,396万人	1,466万人
構 成 比	100.0%		69.8%	30.2%
前年度対比	94.4%		94.7%	93.8%

#### 季節別

区 分	春	夏	上期計	秋	冬	下期計	合 計
観光客入込数（実人数）	647万人	2,532万人	3,179万人	662万人	1,020万人	1,683万人	4,862万人
構 成 比	13.3%	52.1%	65.4%	13.6%	21.0%	34.6%	100.0%
前年度対比	86.4%	94.4%	92.6%	97.4%	98.4%	98.0%	94.4%

【参 考】

観光入込客数（延べ人数）

1 総数

平成 12 年度の道内 2 1 2 市町村における観光入込客の総数は、延べ 1 億 3 , 6 6 5 万人で、前年度に比べ 8 . 5 % ( 1 , 2 7 5 万人) の減となっております。

2 道外・道内客別

道外客は、4 , 1 2 5 万人で前年に比べ 1 4 . 4 % ( 6 9 5 万人) の減、道内客は、9 , 5 4 0 万人で前年度に比べ 5 . 7 % ( 5 8 0 万人) の減となっております。

3 日帰り・宿泊客別

日帰り客は、1 億 8 9 2 万人で前年度に比べ 8 . 9 % ( 1 , 0 6 5 万人) の減、宿泊客は、2 , 7 7 2 万人で前年度に比べ 7 . 0 % ( 2 1 0 万人) の減となっております。

【平成 1 2 年度観光入込客数（延べ人数）】

区分	観光入込客数	前年度対比	増減数	構成比
2 1 2 市町村総数	1 3 , 6 6 5 万人	9 1 . 5 %	1 , 2 7 5 万人	1 0 0 . 0 %
道外客	4 , 1 2 5 万人	8 5 . 6 %	6 9 5 万人	3 0 . 2 %
道内客	9 , 5 4 0 万人	9 4 . 3 %	5 8 0 万人	6 9 . 8 %
日帰り客	1 0 , 8 9 2 万人	9 1 . 1 %	1 , 0 6 5 万人	7 9 . 7 %
宿泊客	2 , 7 7 2 万人	9 3 . 0 %	2 1 0 万人	2 0 . 3 %

4 月別・季節別

月別にみると、1 2 月、1 月以外の月において前年を下回っております。

季節別にみると、前年度に比べ春は 1 5 . 6 % の減少、夏は 9 . 9 % の減少、秋は 5 . 7 % の減少、冬は 1 . 7 % の減少となっております。

【月別・季節別観光入込客数（延べ人数）】

( 万人 : % )

区 分	春		夏				上期計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
月 別	584	1,243	1,285	1,973	2,355	1,452	8,892
構 成 比	4.3	9.1	9.4	14.4	17.2	10.6	65.1
前年度対比	84.4	84.4	88.5	91.6	88.7	92.1	88.9
季 節 別	1,827		7,065				8,892
構 成 比	13.4		51.7				65.1
前年度対比	84.4		90.1				88.9

区 分	秋		冬				下期計	年間合計
	10 月	11 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月		
月 別	1,261	633	585	763	830	700	4,773	13,665
構 成 比	9.2	4.6	4.3	5.6	6.1	5.1	34.9	100.0
前年度対比	94.2	94.6	101.1	102.3	93.6	97.8	96.7	91.5
季 節 別	1,894		2,879				4,773	-
構 成 比	13.9		21.1				34.9	-
前年度対比	94.3		98.3				96.7	-

## 5 圏域別

圏域別に見ると、全圏域で前年度を下回っております。

### 【圏域別観光客入込客数（延べ人数）】

圏域別	観光客入込客数	前年度対比	増減数	構成比
道 央	7,245万人	89.6%	843万人	53.0%
道 北	2,178万人	98.2%	40万人	15.9%
道 南	1,359万人	91.3%	130万人	9.9%
オホーツク	1,093万人	91.2%	105万人	8.0%
釧路・根室	949万人	90.8%	96万人	6.9%
十 勝	841万人	93.3%	61万人	6.2%
合 計	13,665万人	91.5%	1,275万人	100.0%

### 【圏域別の状況】

- ・ 道 央： 全道的な減少要因の中でも、特に有珠山噴火による道路の寸断や立ち入り禁止区域等の影響などにより、前年を大きく下回っておりますが、下期をみると回復の傾向にあります。
- ・ 道 北： 全道的な減少要因のほか、テレビドラマなどのロケ地ブームの沈静化、冬季の天候不順などのマイナス要因がありましたが、観光施設等の新設、リニューアルなどにより、前年度と比べ1.8%の減少にとどまっております。
- ・ 道 南： 全道的な減少要因の中でも、有珠山噴火による道路の寸断等により、従来の観光ルートに影響があったことに加え、航空路線（函館～福岡）の運行休止、春・夏季のイベント時の天候不順などにより、前年を下回っておりますが、下期をみると回復していると思われれます。
- ・ オホーツク： 航空路線（紋別～東京）の新規就航などのプラス要因があったものの全道的な減少要因のほか、観光施設等の入り込み減などにより、前年を下回っておりますが、下期をみると回復の傾向にあります。
- ・ 釧路・根室： 全道的な減少要因のほか、フェリー（釧路～東京）の航路休止、春・夏季の週末の天候不順、大規模な全道・全国大会の減少などにより、前年を下回っておりますが、下期をみると回復の傾向にあります。
- ・ 十 勝： 全道的な減少要因のほか、口蹄疫発生の影響、遅い雪解けや春・夏季の週末の天候不順などにより、前年を下回っておりますが、下期をみると回復の傾向にあります。

## 来道観光客に関する調査の概要

### 1 概況

平成12年度の交通機関（航空機・フェリー・鉄道）の下り便の輸送実績を基に推計した来道観光客数は、596万人となっており、前年度に比べ6.1%の減少となっております。

季節別にみると、夏（6月～9月）が326万人で全体の54.7%を占め、次いで、冬（12月～3月）が127万人（構成比21.3%）、秋（10月～11月）が73万人（同12.2%）、春（4月～5月）が70万人（同11.8%）の順となっております。

### 2 交通機関別の状況

平成12年度に来道観光客数を交通機関別にみると、航空機が490万人（構成比82.2%）と最も多く、次いで、フェリーが63万人（同10.6%）、鉄道が43万人（同7.2%）となっております。

前年度と比べると、航空機は6.6%、フェリーは3.2%、鉄道は5.4%下回る結果となっております。

平成12年度来道観光客数（交通機関別・季節別）

区 分		合 計	構成比	春	夏	秋	冬
合 計	来道観光客数	596万人	100.0%	70万人	326万人	73万人	127万人
	構 成 比	100.0%		11.8%	54.7%	12.2%	21.3%
	前年同期比	93.9%		81.9%	93.9%	95.6%	100.7%
航 空 機	来道観光客数	490万人	82.2%	54万人	264万人	60万人	111万人
	構 成 比	100.0%		11.0%	53.9%	12.3%	22.7%
	前年同期比	93.4%		79.1%	94.0%	94.7%	100.1%
フェリー	来道観光客数	63万人	10.6%	9万人	42万人	5万人	7万人
	構 成 比	100.0%		14.8%	66.1%	7.7%	11.5%
	前年同期比	96.8%		99.0%	93.5%	103.8%	111.0%
鉄 道	来道観光客数	43万人	7.2%	7万人	20万人	8万人	8万人
	構 成 比	100.0%		16.6%	46.6%	17.7%	19.1%
	前年同期比	94.6%		85.4%	94.3%	97.9%	101.7%

# 訪日外国人の来道者数に関する調査の概要

## 1 訪日外国人入込客数（実人数）

### （１）概況

平成12年度の訪日外国人の来道者数は、実人数で20万6,600人で、前年度に比べ1.3%の増加となっております。

### （２）国別

国別にみると、台湾が10万9,700人（前年度対比9.3%減、構成比53.1%）ともっとも多く、次いで、中国（香港）が2万9,400人（同41.3%増、14.2%）、韓国が、19,900人（同11.8%増、9.6%）の順となっております。

台湾客は、直行便での来道者数は増加したが、道外の空港などを経由しての来道者数が減少したため、前年度に比べ減少となっております。

また、中国（香港）は、北海道の冬に対する人気が強くなり、直行便や道外の空港などを経由しての来道者数が増加したため、前年度に比べ増加となっております。

## 【平成12年度訪日外国人の来道者数(実人数)】

（単位：人、％）

区分		アジア						ヨーロッパ		北米		中南米	アフリカ	オセアニア	不明	合計	
		中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	その他	米国						カナダ
春季 (4・5月)	12年度	200	1,400	9,800	1,400	150	300	13,250	750	900	900	50	50	50	100	700	16,750
	11年度	200	1,900	12,700	1,200	100	250	16,350	700	500	900	50	50	50	150	2,300	21,050
	前年度対比	100.0	73.7	77.2	116.7	150.0	120.0	81.0	107.1	180.0	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	30.4	79.6
夏季 (6月～9月)	12年度	1,100	10,900	42,400	4,500	250	1,850	61,000	2,550	3,250	3,100	400	350	200	950	4,350	76,150
	11年度	800	9,000	48,500	4,400	350	1,050	64,100	2,700	2,700	3,200	500	250	200	1,100	5,600	80,350
	前年度対比	137.5	121.1	87.4	102.3	71.4	176.2	95.2	94.4	120.4	96.9	80.0	140.0	100.0	86.4	77.7	94.8
秋季 (10・11月)	12年度	400	2,550	20,500	2,900	150	1,050	27,550	1,100	1,950	1,750	150	150	100	150	1,900	34,800
	11年度	300	2,900	20,900	1,800	200	450	26,550	1,550	1,400	1,150	150	100	100	150	2,050	33,200
	前年度対比	133.3	87.9	98.1	161.1	75.0	233.3	103.8	71.0	139.3	152.2	100.0	150.0	100.0	100.0	92.7	104.8
冬季 (12月～3月)	12年度	700	5,050	37,000	20,600	850	1,600	65,800	1,700	3,250	2,600	450	100	50	2,950	2,000	78,900
	11年度	800	4,000	38,800	13,400	550	1,000	58,550	1,450	2,600	2,100	300	100	50	1,500	2,650	69,300
	前年度対比	87.5	126.3	95.4	153.7	154.5	160.0	112.4	117.2	125.0	123.8	150.0	100.0	100.0	196.7	75.5	113.9
合計	12年度	2,400	19,900	109,700	29,400	1,400	4,800	167,600	6,100	9,350	8,350	1,050	650	400	4,150	8,950	206,600
	11年度	2,100	17,800	120,900	20,800	1,200	2,750	165,550	6,400	7,200	7,350	1,000	500	400	2,900	12,600	203,900
	前年度対比	114.3	111.8	90.7	141.3	116.7	174.5	101.2	95.3	129.9	113.6	105.0	130.0	100.0	143.1	71.0	101.3
12年度国別構成比		1.2	9.6	53.1	14.2	0.7	2.3	81.1	3.0	4.5	4.0	0.5	0.3	0.2	2.0	4.3	100.0

## 2 訪日外国人宿泊者数（延べ人数）

### （1）概況

平成12年度の訪日外国人の宿泊者数をみますと、延べで66万2074人泊で、前年度に比べ4.8%の増加となっております。

#### 【平成12年度国別訪日外国人の来道宿泊者数（延べ人数）】

（単位：人泊、％）

	アジア							ヨーロッパ					
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他	小計
12年度	9,246	34,444	372,133	111,586	4,830	22,323	554,562	10,941	4,037	1,907	3,523	21,742	45,150
11年度	8,193	28,277	409,784	64,082	4,185	14,501	529,022	11,735	4,077	1,818	4,741	14,025	36,396
前年度対比	112.9	121.8	90.8	174.1	115.4	153.9	104.8	93.2	99.0	104.9	74.3	155.0	115.8

	北米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計
	米国	カナダ			豪州	その他		
12年度	29,816	3,789	4,470	5,382	5,730	1,872	14,303	662,074
11年度	26,479	3,876	4,922	5,561	3,927	1,287	20,034	631,504
前年度対比	112.6	97.8	90.8	96.8	145.9	145.5	71.4	104.8

### （2）月別

月別でみますと、11月、12月、1月、3月が前年度に比べ増加となっております。

#### 【月別・季節別観光入込客数（延べ人数）】

（単位：人泊、％）

区分	春		夏				上期計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月別	19,371	30,152	43,151	83,141	62,261	46,729	284,805
構成比	2.9	4.6	6.5	12.6	9.4	7.1	43.0
前年度対比	79.4	89.2	89.0	93.5	97.0	92.7	91.8
季節別	49,523		235,282				284,805
構成比	7.5		35.5				43.0
前年度対比	85.1		93.3				91.8

区分	秋		冬				下期計	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月別	71,563	47,814	60,145	87,310	75,208	35,229	377,269	662,074
構成比	10.8	7.2	9.1	13.2	11.4	5.3	57.0	100.0
前年度対比	92.8	143.4	117.7	286.6	69.4	169.0	117.4	104.8
季節別	119,377		257,892				377,269	662,074
構成比	18.0		39.0				57.0	100.0
前年度対比	108.0		122.4				117.4	104.8

(3) 圏域別

圏域別にみますと、釧路・根室圏域が前年に比べて18.7%減少しており、道北圏域においても前年度に比べ1.8%減少しておりますが、他の圏域は前年度に比べ増加となっております。

【平成12年度圏域別訪日外国人の来道宿泊者数(延べ数)】

(単位:人泊、%)

	アジア							ヨーロッパ					
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他	小計
道南	864	855	20,957	16,969	168	1,599	41,412	876	371	72	110	420	1,849
道央	6,264	27,856	194,938	88,830	3,379	11,968	333,235	4,035	3,047	1,339	1,947	17,437	27,805
道北	310	1,102	57,299	1,933	483	1,148	62,275	2,539	283	287	594	2,508	6,211
オホーツク	461	1,548	24,841	352	15	233	27,450	337	97	38	253	99	824
十勝	1,045	2,197	40,850	2,431	3	6,712	53,238	525	45	46	453	1,012	2,081
釧路・根室	302	886	33,248	1,071	782	663	3,695	2,629	194	125	166	266	3,380
合計	9,246	34,444	372,133	111,586	4,830	22,323	554,562	10,941	4,037	1,907	3,523	21,742	42,150

	北米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計	前年度対比	11年度
	米国	カナダ			豪州	その他				
道南	2,464	151	113	50	332	47	71	46,489	196.7	23,634
道央	22,623	2,534	1,687	629	4,577	1,149	11,906	406,145	101.7	399,254
道北	2,441	444	89	18	603	60	589	72,730	98.2	74,027
オホーツク	702	79	64	8	69	112	376	29,684	110.4	26,889
十勝	599	70	2,454	4,586	58	485	1,097	64,668	116.4	55,579
釧路・根室	987	511	63	91	91	19	264	42,358	81.3	52,121
合計	29,816	3,789	4,470	5,382	5,730	1,872	14,303	662,074	104.8	631,504

(4) 市町村別

市町村別でみますと、札幌市が205,546人泊(前年度対比1.9%増)で最も多く、次いで、登別市73,670人泊(同39.0%増)以下上川町、壮瞥町、阿寒町の順となっております。

(5) 国別・市町村別

宿泊者の多い上位国を市町村別にみますと、全体として、温泉地を抱える市町村が上位となっており、前年度と同じ順位となっております。

札幌市は、北海道の主要都市であり、各地との交通アクセスが良いことなどから、各国とも上位になっていると思われまます。



【宿泊延べ数の多い上位5ヶ国】

(単位：人泊、%)

順位	国名	宿泊延べ数	前年度対比
1	台湾	372,133	90.8
2	中国(香港)	111,586	174.1
3	韓国	34,444	121.8
4	アメリカ	29,816	112.6
5	ロシア	10,941	93.2

【訪日外国人宿泊延べ数の多い市町村】

(単位：人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	前年度対比
1	札幌市	205,546	101.9
2	登別市	73,670	139.0
3	上川町	36,981	81.6
4	壮瞥町	35,479	91.9
5	阿寒町	32,163	75.5

【台湾の宿泊延べ数の多い市町村】

(単位：人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	前年度対比
1	札幌市	84,810	79.1
2	登別市	47,342	161.2
3	上川町	34,951	79.9
4	壮瞥町	30,479	86.3
5	阿寒町	29,677	73.3

【アメリカの宿泊延べ数の多い市町村】

(単位：人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	前年度対比
1	札幌市	15,481	110.5
2	千歳市	2,379	158.7
3	函館市	2,308	142.4
4	苫小牧市	1,502	228.3
5	登別市	904	133.9

【中国(香港)の宿泊延べ数の多い市町村】

(単位：人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	前年度対比
1	札幌市	55,681	186.0
2	登別市	18,552	131.2
3	鹿部町	8,486	-
4	虻田町	7,822	99.0
5	函館市	6,459	330.0

【韓国の宿泊延べ数の多い市町村】

(単位：人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	前年度対比
1	札幌市	10,459	121.6
2	登別市	5,831	77.3
3	壮瞥町	3,788	145.6
4	留寿都村	3,346	222.3
5	新得町	1,465	613.0

【ロシアの宿泊延べ数の多い市町村】

(単位：人泊、%)

順位	市町村別	宿泊延べ数	前年度対比
1	札幌市	2,630	96.4
2	稚内市	2,147	163.6
3	釧路市	1,562	95.5
4	小樽市	886	83.9
5	函館市	876	87.1